

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年 4月19日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690200185
法人名	社会福祉法人 白寿会
事業所名	グループホーム 和
所在地	鹿児島県薩摩川内市中福良町2911番地1 (電話) 0996-22-0753
自己評価作成日	平成25年2月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島県真砂町54番15号
訪問調査日	平成25年3月7日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

気持ちをくみ取り、心に届くサービスの提供として、職員は認知症により周りの事や自分の事さえ不確かになっていくご利用者の不安な気持ちや感情を適切な関わりにより和らげられるよう配慮します。また、ご利用者の人格、言動を否定する事なく全てを受け入れる事により、ご利用者にとって安心できる信頼関係が築けるよう努めています。最終的に自分が利用したい、大切な人を預けたいと思えるグループホーム作りを目指しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは薩摩川内市郊外の静かな住宅地に位置し、同法人の特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、在宅介護支援センターと併設されている。広い敷地の一角には天然温泉を利用した足湯も設置され、面会に来られる方々や地域の方々にも開放されている。また、協力医療機関との連携も緊密であり、定期的な往診で利用者の健康管理がなされ、利用者や家族の安心につながっている。

○運営推進会議は、多くの委員の参加を得て定期的開催されているが、管理者は会議で有意義な意見交換が行われるように、また、委員から多くの提案や助言が得られるように、ホームの活動をはじめとする多くの情報を盛り込んだ詳細な資料を準備して会議に臨んでいる。

○日常のケアに際しては、理念に沿って「その人らしく暮らすことができるように」を目標にして管理者と職員が一体となって支援に取り組んでいる。管理者は職員に対して、日頃より問いかけを工夫するなど話しやすい雰囲気作りに努め、ケアに関して職員が自主的に工夫できるように働きかけ良好なチームワークが築かれている。

○利用者の思いや意向を、職員は日常の暮らしの中で声かけもまめに行いながら把握に努め、ご家族からの聞き取りも含めて「日勤・夜勤日誌」で共有して、特に繰り返し出てくる利用者の言葉に注意を払い、安全を確保しながら利用者がよりよく暮らせるように支援している。また、介護計画も本人とじっくりと話し合い、何より本人の思いを最優先させた具体的でわかりやすい内容のものを作成して本人本位の支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所の原点とし、自分達のおこなう支援や接遇がそれに沿っているか振り返りながらサービス提供に努めております。	ホームの運営理念と共に年度の目標も5項目掲げて、利用者が地域の中でその人らしく暮らすことができるように、個々の利用者に寄り添う介護の実現を目指して日々取り組んでいる。毎月の職員会議等で繰り返し理念の意義を振り返り、理念や目標の共有・実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	日常的交流といえるまでには至っていません。課題の1つとして十分認識しております。	自治会に参加して回覧板等で地域の情報を把握し、清掃活動や秋祭り・小学校の運動会等に参加して交流を図っている。ホームのクリスマス会には地域の方々をお招きしたり、日常的に散歩や買い物などに出かけ、挨拶や話を交わしている。また、中・高生の職場体験の受け入れも計画しており、地域との交流に意欲的である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方へ、認知症の理解を深めていただき、またどの様な接し方が望ましいか等の講演を行ったことがあります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	意見やアドバイスをいただいた場合、職員への周知をおこないサービスに反映できるかなどの検討をおこないます。	会議は、家族や民生委員・地域住民・市役所の職員等が参加して定期的開催されている。管理者は委員からの意見が出やすいように、事前に詳細な資料を準備している。これを基にホームの現況報告や行事・課題等について活発な意見交換が行われ、委員からも多くの助言・提案があり具体的にサービスの質向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	重要な報告や解釈の難しい法令に関する疑問・質問等、各部署ごとに相談できる人を作っています。	市担当者には毎回の運営推進会議に出席して頂くと共に、電話や各種の書類の提出時に、ホームの対応困難事例や後見人制度等の相談に助言・対応して頂き連携を図っている。また、市主催の「グループホーム連絡会」にも参加して意見交換・情報交換に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人の身体拘束委員会で定期的に会議を開催し、法人として身体拘束禁止の考えは共有されています。和では物理的な拘束を含め、言葉等で行動を制限する事が無いように気を付けています。原則として日勤帯の施錠はいたしていません。	居室や玄関等の施錠は原則として行わないケアに取り組み、利用者が外出しそうな様子が見られる場合には、職員が連携して見守りや声かけを行っている。特に言葉による拘束や気持ちの押さえつけ等の防止については、法人の身体拘束委員会やホームの職員会議等で繰り返し話し合い、理解を深めると共に、利用者の自由な暮らしを支援する工夫に努めている。また、近隣の方々とも見守りや声かけをしてもらえるような関係も築いている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	法人の研修会や事業所内での勉強会で関連法を学ぶ機会を作っています。当事業所だけで自宅での虐待を見つける事は難しいですが、情報があつた場合は入居順を繰り上げたり用意があります。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要性が生じているケースがあり、市や社協関係者と話し合いをしたことがあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事業所の考えや方針を理解していただき初めて重要事項の説明、契約締結となります。日頃から、ご利用者に対しては不安等を話しやすくするため言葉掛けしており、ご家族に対してはご面会時や近況報告の機会に不安等話していただけるように配慮しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営についてのヒントの多くはご利用者やご家族、面会者等から得られると考えていますので、積極的にお話をするようにしています。その中でのご意見・ご要望は運営に反映させる用意があります。	利用者の思いは、日常会話やしぐさの見守りから、ご家族とは電話や来訪時の対話、クリスマス会等での意見交換などで把握に努めている。得られた情報は業務日誌で共有し、必要な場合は職員会議等で話し合い、本人やご家族に報告すると共に、ケアに具体的に反映できるように取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員から意見が積極的にでるよう会議運営等任せているものもあります。自分達で決めたものは責任を持って実施する流れがあります。	管理者は日常的に職員個々に応じた問いかけを工夫するなど、話しやすい雰囲気作りを心掛け、特に利用者のケアについては、必要な対応を職員自身が工夫できるように指導に努めている。職員からはサービスの質向上につながる意見や提案も多く出され、職員会議やケア会議・部会等で活発な話し合いが行われている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は、職員の総合的な職場環境の改善に努め、実践しています。また人事考課には職員の考え等を記入できるようになっており現況を把握しやすくなっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外で研修・勉強会の機会は多く、資格取得も推奨しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入しており同業者との情報交換等の機会があります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>まずはじっくりとお話をお聴きすることから始めています。そうすることで安心感や信頼感につなげています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご利用者と同様、まずはじっくりとお話をお聴きすることから始めています。そうすることで安心感や信頼感につなげて話しやすい環境を作ります。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>何を求めておられるかを直接お聞きします。また聴き取り内容から得た情報を元にその背景や他のニーズを検討します。その際、当サービスが妥当であるか否かの検討もおこないます。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>特に意識せず普通に接しています。良い関係が築けていると思います。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者が安定した生活を送っていただくためにご家族との関わりはとて重要であると認識しており、良好な関係が築けていると思います。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人や縁のあった方等にきていただいたり、自分の家の確認、ご近所周り、墓参り等の支援をおこなっています。	入所時の聞き取りと共に、ご家族の来訪時や電話で繰り返し利用前の情報を把握し、馴染みの美容室・墓参り・自宅周辺を含む近隣のドライブ等を可能な限り支援している。また、併設のデイサービスの行事への参加や食事会で交流を図ると共に、知人・友人等の来訪時にはゆったりと過ごせるように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の関係把握はできております。対人関係を築きにくいご利用者へは職員が和を持てるよう配慮しており、孤立されているご利用者はありません。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後、ご相談等を受けることもあり、都度対応させていただいております。何よりご縁のあった方々ですので大切にしていきたい気持ちでおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活を送られるうえで重要な部分と考えていますので意向把握は慎重におこなっております。	ご家族からの聞き取りや毎日の暮らしの中で声かけもまめに行い、利用者の思いや意向をくみ取るように努めている。これらの情報は「日勤・夜勤日誌」で共有を図り、特に繰り返し出される言葉を始めとして必要な対応について朝礼やミーティングで話し合い、利用者本位の支援に結びつくように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者の人となりを知る事で生活に継続性を持っていただいたり、BPSDへの対応においてのヒントとしています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体調変化や言動の変化、生活状況を記録し職員で共有しています。気になる変化は都度ミーティングをおこない検討いたしております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は概ね、現状に則していると考えております。ご本人の意向が第一であり、押しつけがましい計画にならないようにしています。	本人・家族から希望や意向を聞き、特に本人とは計画作成担当者がじっくりと話し合い、主治医や関係者・職員からの意見も反映させた上で、本人の意向を最優先させたわかりやすい計画を作成している。また、ケア会議は毎月開催して経過を評価し、状態の変化に対応した話し合いを基に、利用者がよりよく暮らすために適切に見直しを行い修正している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	概ね、実践できていると考えております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	臨機応変な対応ができることは、事業所の魅力にもつながるので取り組む考えですが、正直どこまで可能であるか分からない部分であります。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今後の課題の一つと考えております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご希望に沿ったかたちになっていると考えております。	利用前の受診状況は十分把握し、本人やご家族の希望を最優先してかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関をかかりつけ医としている利用者が多く、月2回の往診や緊急時対応等、連携は十分に図られている。専門医の受診も含めて職員・関係者で情報の共有が図られ、ご家族への連絡も適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	主治医と直接情報のやり取りをする事が多く看護師を介すことがほとんどない状況です。ただし、ケースによっては隣接の特養看護師の協力を受ける事があります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	そのように努めており、関係づくりも行なっております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化対応やターミナルケアに関しての事業所の方針を定めてご理解を得ております。	重度化や終末期のケアについては、「入退居の方針」を基にしてホームの方針をご家族にも説明し同意を得ている。様々な変化の都度、本人や家族と繰り返し十分に話し合い、医師をはじめとする関係者との連携を密にして、ホームで行える必要な支援を可能な限り実施できるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	経験に基づいて現場の対応力が向上したと考えています。その他、事例を用いて緊急時のシミュレーション、検討会を行なっておりもしもの時に備えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>ご利用者のADL及び認知度等を考慮した避難訓練の実施。事業所加入の自治会へは協力をいただけるようお願いをし、了解を得ています。</p>	<p>消防署との連携により年2回は、夜間も含む地震や火災を想定した避難訓練や消火訓練を行っている。隣接する法人の施設との協力体制も築かれており、スプリンクラーや自動通報装置等をはじめとする設備の充実にも取り組んでいる。また、運営推進会議等を通じて、地域の人々の協力が得られるように必要な情報提供や呼びかけも行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念実現に向けて重要な項目として考えており、ご利用者の尊厳を守る事に関しては繰り返し職員に伝えております。	利用者の誇りや尊厳を大切にするように職員会議の中での勉強会等で繰り返し話し合い、常に具体的に確認し合っている。また、日常業務の中でも気付いたことはお互いに注意し合い、利用者の自由な暮らしを大切にした本人本位の対応を心がけている。個人記録の管理や居室の保護にも十分配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できる限り自己決定していただくように配慮しており、概ね実践できていると思います。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	安全面等を考慮した場合、職員主導になる部分はありますが、ご利用者主体である事は全職員理解しており、概ね希望に沿えていると思います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人の好みを聞きながら服選び等の手伝いをしています。衛生面や清潔感を保っていただく支援をまず大切にしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備、調理、片付け一連の過程の中にご利用者に関わっていただいています。	法人の管理栄養士の献立を基に、利用者の希望もメニューに反映させている。また、菜園での野菜の収穫や買い物・調理・食卓の準備や後片付けなど、利用者と一緒にできることを支援している。行事の際の家族も交えたバイキング、花見弁当や個別の夕食、天気の良い日のテラスでのお茶会や食事など、利用者の楽しみにつながる多くの工夫も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分補給においては、ご本人の状態に合わせた対応をいたしており、栄養バランスに関しては法人の管理栄養士が立案したメニューを参考にしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご利用者自ら歯磨き等しておられるのでお任せしている部分があり、個別の状態把握は今後の課題と考えております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンの把握に努め、適時誘導を実施しております。失禁対策でパット使用の方もおられますが、なるべくトイレでの排泄を心がけております。	利用者の様子観察や排泄チェック表の活用で利用者個々のリズムを把握して、個人の習慣や気持ちに配慮した声かけや誘導で排泄の自立のための支援を行っている。職員はミーティング等を通じて利用者個々に合った取り組みの方針を話し合い、一連の工夫はプランにも組み込んで支援に反映するように努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘が及ぼす影響を十分理解しています。食べ物への配慮と水分補給、軽い運動等で数日の便秘には対応していますが、間隔が長い場合、主治医に相談し薬で対応することもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	ご利用者の希望の時間に自由に入浴していただく事を理想としていますが、事業所の都合になる場合もあります。	利用者の健康状態には十分配慮しながら、基本は本人の好みや習慣に沿った入浴支援となることを目指して、その体制づくりに向けて繰り返し検討を重ねている。入浴を拒否される場合の対応も工夫しながら、敷地内に湧き出る温泉を楽しんで頂くように支援に取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠たくないのに無理に寝ていただくように接していません。心が穏かになれるよう会話したりお飲物をお出ししたり工夫をいたしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者個別の薬の把握は概ね出来ていると考えております。処方変更等生じた場合は主治医と連携し症状の変化等の把握に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個別にお話を聞いたりして支援につなげています。本来、何の制限を受ける事もなく出来て当たり前の事ですので、なるべく希望に沿いたいと思っております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日常的な部分は基本的に自由にしていただく考えであり、制限したくない部分であります。ご家族や友人の方の協力もあります。事業所の買い出し等へもお誘いして気分転換を図っております。	日当たりの良い広い敷地は自由に散策できる環境であり、日光浴を兼ねたテラスでのお茶会や食事と共に、散歩や買い物・ドライブなど、日常的に外に出かけて楽しんで頂いている。また、地域の秋祭りや運動会をはじめ、時には家族や職員の友人の協力も得て弁当持参の季節の花見やソーメン流し・温泉・外食のほか、個々の好みや習慣にも配慮した外出にも対応するなど、可能な限り多くの支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>少額を自分で管理される方もあり、嗜好品等に使われます。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば電話や手紙の代筆等をいたしております。ご家族からのお電話等はおつなぎしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日中において日の光に眩しさを訴えられるご利用者もおられ、カーテンをしたり対応をしています。無機質でなく季節感や楽しむ工夫等もしています。</p>	<p>広々とした敷地には特別養護老人ホームやデイサービスセンターが併設され、地域の人々にも開放している足湯も設置されている。リビングや廊下は広々としており、天井も高く明るく、季節の花も飾られて静かにゆったりと過ごせるように工夫されている。リビングから直接出ることのできるウッドデッキは日当たりがよく、天気の良い日は日光浴や散策、お茶や食事を楽しむことが可能である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>館内を自由に使っていただいております。お互いに居室を訪問したり、小グループで集われたりという事もあります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>慣れ親しんできた環境を出来るだけ再現していただけるようお願いしています。また、不都合や気分転換のため模様替え等をご本人の意思に基づき実施しています。</p>	<p>居室にホームが準備したものはエアコンのみで、利用者がそれまで住み慣れた家庭での生活を続けられるように、ダンスやテレビ・使い慣れた身の回りのものを自由に持ち込んでもらっている。利用者一人ひとりのプライバシーを大切に、落ち着いて自由に過ごせる環境となるように支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すり等を設ける等、できる事を活かした環境づくりをしておりますが、多少の不便はあつて当たり前と考えております。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない